

校長 eyes (40)

6月19日(水)【朗読の日】



本日は、六(ろう)十(ど)九(く)の語呂合わせで、「朗読の日」だそうです。先日2年生の教室を訪れてみると、『十六歳のとき』(星野道夫)を段落ごとに一人ずつ音読していました。「どうして自分は今ここにいるのか。なぜAではなくBの道を歩いているのか」、「誰の人生にもさまざまな岐路があるように」…等の部分を聞いていると、黙読とはまた違った味わいを感じます。声に出して文章を読むことはいいものだなと、改めて思ったところです。

本日の短歌

「音読を しつつ自分に 問いかける 十六歳の 時生きる君」